

派遣対象企業
県北地方に本社
または支店のある
商工会・商工会議所の会員等

若干数

無料

派遣期間

令和8年7月～12月頃

貴社の「理想の働き方」に向けて一緒に走ります。

県北で進める!

働き方改革促進事業

コンサルタント派遣対象企業募集

県北地方振興局が無料でコンサルタントを派遣

専門のコンサルタントが【伴走支援】という形でサポートします。

※「伴走支援」とは、中小企業が抱える課題や目標達成のために、外部の専門家や支援機関が寄り添い、共に取り組む支援のことを指します。

- ・ 1社あたりの伴走支援期間 6カ月程度
 - ・ 月に1回程度、訪問またはオンラインで助言、指導、ミーティング、社内研修を行います。
- 令和9年1～2月頃に、伴走支援成果報告会を行います。

このようなお悩みはありませんか？

残業削減や
有給取得率の
改善を進めたい

業務が属人化し
一部の社員に負荷が
集中している

業務マニュアルが
形骸化しており
標準化が進まない

人材定着や
育成を進めたい

生産性向上と
働きやすさを
両立したい

「自社に合った改善」を一緒に見つけ、実行していきましょう!

現場の声を丁寧に拾います。

現状の働き方を確認し、
社員みなさんと一緒に
「今どんな課題があるのか」を
整理します。



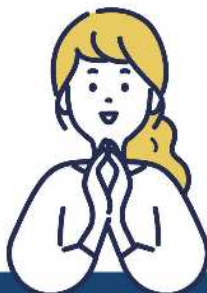
解決の糸口を共に考えます。

課題の背景や要因を整理し、
すぐにできる工夫から中長期的な
取り組みまで、実効性のある
解決策を一緒に検討します。



定例のミーティングで 着実に前進します。

専門コンサルタントが定期的
に訪問・オンライン支援を行い、
進捗確認やアドバイスを
通じて改善を支援します。



最終的には 「自走できる仕組みづくり」へ

プロジェクト終了後も
社内で継続できる
仕組み作りまで支援します。



お申込み
お問い合わせ

まずはお気軽に
お問い合わせください!

▶ 県北地方振興局 企画商工部 地域づくり・商工労政課
TEL:024-521-2658

「カエル会議」で対話型ミーティングを中心に進めていきましょう！

カエル会議は、単なる情報共有の場ではなく、現場メンバー自身が課題を整理し、改善策を話し合い、実行までつなげる仕組みです。

※カエル会議は「仕事を振り返る」「働き方を変える」「早く帰る」という意味が込められています。



Step 0

理想の姿(ゴール)を決める

どんな職場になりたいか、チームで「ありたい姿」を明確にします。

Step 1

現在の働き方を確認する

日々の業務の実態やボトルネックを振り返ります。

Step 2

業務の課題を抽出する

業務のムリ・ムダ・ムラを洗い出し、原因を整理します。

Step 3

改善策を話し合う(カエル会議)

個人やチームで取り組める改善策を検討します。

Step 4

施策を実施する

決まった改善策を実際の業務に反映し、進捗を確認します。

たとえば、

「属人化による長時間労働の是正」「業務手順の見直しと標準化」
「生産性向上と人材定着の両立」「残業削減や有休取得率の改善」

といったテーマで多くの企業が成果を上げています。

取組事例

製造業

課題：仕事が属人化しているため特定の従業員に業務が集中し、恒常的な長時間労働が発生していた。

取組内容：ホワイトボードと付箋紙を活用して業務受渡しの見える化を行い、緊急度や重要度のコンセンサスを図り、互いの状況を把握することをルール化した。

成果：緊急度/重要度マトリクスで状況を可視化したことで、取組み期間中の時間外勤務時間を前年度対比25%削減することができた。

(取組前40時間/月 ⇒ 取組後30時間/月)
※さらなる削減を目指して継続中！



運送業

課題：互いの進捗状況が把握できないため相互サポートのタイミングが分からず、一部のメンバーが長時間労働になっていた。

取組内容：共有フォルダ内にExcelで「本日の予定表」を作成し互いの状況が見える化。さらに、所定労働時間内で効率よく仕事が進められるかを検証した。

成果：見える化したことで互いの予定と進捗が把握できるようになり、相互サポートが可能になった。また、互いの状況が確認できるので、これまで以上にコミュニケーションが取りやすくなった。



取組事例と成果の詳細はこちら！

これまで取り組んだ17社の事例をご覧ください。



主催

福島県北地方振興局

企画商工部地域づくり・商工労政課

TEL:024-521-2658